

サバティカルスペースからはじめる社会貢献

社員の社会貢献意識を高めるためのサバティカル休暇

自分らしい社会貢献

キャリアを積み重ねるだけではなく、一時的にキャリアを離脱した上で、自分がどのような社会貢献ができるかを考える必要がある。そのような機会をサバティカル休暇として設けることが社会の成果を高めることにもなる。

社員の社会貢献実践力の向上が企業価値を高める

貢献意識が高まる → 社会貢献につながる → Daigas

3回取得できるサバティカル休暇

30代、40代に1回ずつ、さらに自分の好きなタイミングで1回の計3回取得できる。育児や介護など、自身の状況に合わせてサバティカル休暇を取得する時期を選択できる。

一般的なサバティカル休暇取得制度は、規定の勤続年数に達した社員に対して、長期休暇を有する制度である。本提案におけるサバティカル休暇制度は、1年間の休職から最大3回取得できる。社員は、この期間に自身を磨きたいが、どのように自分らしい社会貢献ができるかをじっくり考えることで、退職後の第二のライフステージにおいても、自分らしく生きることが可能である。

一般的な働き方

25歳 30歳 35歳 40歳 45歳 50歳 55歳 60歳

一般的なサバティカル休暇制度(1回のみ)

25歳 30歳 35歳 40歳 45歳 50歳 55歳 60歳

基本提案におけるサバティカル休暇制度(複数回取得できる)

25歳 30歳 35歳 40歳 45歳 50歳 55歳 60歳

S(Sabbatical)ゾーン、P(Private)ゾーン、いずれにも使用できるSP(Sabbatical Private)ゾーンの提案

502号室(複数人用) 503号室(複数人用) 504号室(単身用) 505号室(単身用)

5階平面図 1:100

502号室(複数人用) 503号室(複数人用) 504号室(単身用) 505号室(単身用)

501号室(複数人用) PS

504号室(動物愛護に関わる法人を設立し、飼い主も動物も幸せな社会を目指す)

501号室(自宅に居づらいうちの子どもの居場所をつくり、子育ての悩み相談の場も提供)

サバティカルフロアが他階に及ぼす効果

断面図 1:200

他のサバティカル社員と交流することで、社会貢献意識がさらに向上する。

サバティカルフロア

サバティカルフロア

一般住戸フロア

一般住戸フロア

共用フロア

共用フロア

ホール

交流ラウンジ

5人のサバティカル社員の社会貢献の形

503号室: 社員食堂を開き、健康と居場所の提供

25歳 30歳 35歳 40歳 45歳 50歳 55歳 60歳

1 NEX21を活用

2 夕方社員食堂運営

3 NEX21を活用

○野菜作りに関心を持つNEXT21に入学し、屋上で家庭菜園を体験する。自分で野菜を育て、食べる暮らしに慣れを持つようになる。

○食に関する勉強会を開催。食卓を見直すようになる。また、社員食堂を開き、社員に健康的で季節感のあるものを提供したいと考え、資格の取得、野菜栽培を行う。

○お試しで社員食堂を運営。夜間営業も行っている社員食堂を、同じくサバティカル休暇を取得している仲の良い社員と共同で開く。自分で栽培した野菜を使用し、社員食堂で社員に健康に貢献する。

○本格的に社員食堂を運営。50歳からは、大阪ガスに転職しながらも、NEXT21の他の階で夕方から営業する社員食堂を本格的に始める。社員同士の親睦を深めたり、地域住民との交流が行えたりする場を目指して、社員や地域の居場所づくりに貢献する。

501号室: 自宅に居づらいうちの子どもの居場所をつくり、子育ての悩み相談の場も提供

25歳 30歳 35歳 40歳 45歳 50歳 55歳 60歳

1 NEX21を活用

2 週末

3 NEX21を活用

4 週末

○ボランティアと保育の勉強会。放課後デイサービスのボランティアとして活動する傍ら、保育の勉強会に入る。

○妻の準備の手助け。第2子の誕生から1年が経ち、保育士である妻の社会復帰を支える。

○お試しで子どもの居場所づくり。家に居づらいうちの子どもの居場所を1年間お試しで運営する。併せて、NEXT21に住む社員や地域の子育ての悩み相談に響いたり、軽両子どもを預かったりして、子を持つ人々に寄り添う活動を行う。

○本格的に託児所を運営。50歳で早期退職後、NEXT21の住戸内で本格的に託児所の運営を始める。社員寮の中にある託児所として、育児に奮闘する社員を支援する。

504号室: 動物愛護に関わる法人を設立し、飼い主も動物も幸せな社会を目指す

25歳 30歳 35歳 40歳 45歳 50歳 55歳 60歳

1 NEX21を活用

2 週末

3 NEX21を活用

4 週末

○動物に関する資格勉強会。動物に関する知識をつけることも、動物を取り扱うための資格を取得する。また、団体の運営方法なども勉強する。

○ボランティアに参加。既存の動物愛護団体にボランティアとして参加するなどして実践的な経験を積む。

○お試しで動物愛護に関わる法人を設立。動物愛護法人を1年間お試しで運営する。NEXT21に住む社員や地域住民のペットに関する相談に乗るとともに、ふれあいコーナーを設けることで癒しの場を提供する。

○本格的に動物愛護に関わる法人を設立。50歳で早期退職後、これまでのサバティカル休暇中に培った経験を活かして、自ら立ち上げた法人を本格的に運営する。動物愛護の観点から社会に貢献する。

502号室: 民泊を開き、若い旅行者を支援

25歳 30歳 35歳 40歳 45歳 50歳 55歳 60歳

1 NEX21を活用

2 週末

3 NEX21を活用

○若い旅行者を支援する民泊。夫婦で旅行することが趣味で、旅行好きの人の交流を望む社員。大阪に未だ若い旅行者を支援するために、民泊を年間お試しで営業する。

○将来は移住先で民泊事業。50歳で早期退職後、これまでのサバティカル休暇中に培った経験を活かして、地方に移住し、古民家を改装することで、民泊事業を本格的に始める。

505号室: 家庭菜園を通じた交流の場の提供

25歳 30歳 35歳 40歳 45歳 50歳 55歳 60歳

1 NEX21を活用

2 週末

3 NEX21を活用

○菜園スペースを地域に開放。自分の畑を持ちたいと考えている社員。サバティカル休暇で農家の方から野菜作りを学び家庭菜園に興味を持った。南側の菜園スペースを地域住民に開放し、家庭菜園ができる場を提供する。

○将来はNEXT21で家庭菜園事業。50歳からは、大阪ガスに転職しながら提案として、NEXT21の専ら土階を使って、本格的に家庭菜園の活動を事業化する。

宮原賞

N00184

サバティカルスペースからはじめる社会貢献

- 森 夏規(兵庫県立大学)
- 岸本 麻由(兵庫県立大学)
- 藤近 愛(兵庫県立大学)
- 南田 愛斗(兵庫県立大学)
- 森田 真央(兵庫県立大学)
- 大寺 ちひろ(兵庫県立大学)
- 高杉 優里(兵庫県立大学)
- 丹葉 あい子(兵庫県立大学)
- 原 小羽(兵庫県立大学)